

繪本
實錄

奇術水滸傳

全

特38-666



1200500867814

特38

666



特38
666

楠胡姫乗射將
摩白鶴敵

おはなりのしらべ
うゝはげの車一葉



明治
刻

繪
八小説

室の書院



火
許
專

火
許
專

虎王丸

少年あれども
能く猛虎を伏せ



雲龍太郎

常小龍を使
ふの術有り



猛虎起蛟
雲龍呼以
冠海四



袴垂保輔

二勇競奇術無
優劣巖然自有
蛟龍猛虎之風

市原鬼童丸

二頁竟否亦無
優劣嚴然自有
蛟龍猛虎之風



○尾形周馬見番出
見番也ハ其の術を
得し人ありて毎々
夫蛇丸と名
ハ以て大
蛇を
服せ
ること能く
故あたらか
ごと小打負けて
敗まきを取りし
圖らばも
得たる綱手といふ△



△蛇丸を
得し人あり
見番也ハ其
夫蛇丸と名
ハ以て大
蛇を
服せ
ること能く
故あたらか
ごと小打負けて
敗まきを取りし
圖らばも
得たる綱手といふ△

○勇婦
綱手ハ
綱手ハ
を習ひるほえ
婦人ありて曾て見番
也を助け大蛇丸を滅ぼ
せしあり見番也
眼裏の妖術を
もつて大蛇丸ハ
對ハバ大蛇丸ハ蛇
の妖術をもち
見番也を討つ
ふせん
ふ綱手ハ



△ありて
蛇丸の術を
以て又大蛇丸
を討んとする
ゆゑあり
ぞと



○大蛇丸
 大蛇丸は大蛇を使ふ術を得たる大賊あり
 手下教多をもてり常小
 見雷也と威勢を
 何らそひ
 一が兒雷也
 ハ蝦蟇の妖術を使ふ
 ものあれバ常小大蛇
 丸も勝を得ることあり
 ざりしが兒雷也が綱手を得しより
 後ちハ敵をること能はばして遂ふ亡びたり



○天竺徳兵衛
 衛ハ山中不入り
 仙人小出遣ひ
 墓の術を授かり
 父の仇を討んとて盲人
 と偽り館へ入込ミ
 未だ其時を得ず遂小
 見頭をされ一かば池中
 飛入り水門より逃れ出でぬ

水滸傳 六



○白縫姫
あらぬ蜘蛛の
妖術を
まきひた
の仇た
紫衣を
家名を
御
成
家
所
大
を
平



○青柳春之助
春之助ハ敵國大守の
小性とあり朝暮由新
なく心を苦
め隙を
窺ひ
ぼ亡ろを國其て
かども却つて忠臣のため
さへらま一が又一計を
廻らして動揺せしめぬ



由井民部之助正雪

德川氏の天下を奪ふんと

竊か不味方を集め

柴田三郎兵衛

丸橋忠弥

金井氏

五郎等の

人々と謀

事を廻ら

かとも正雪が

邪法豈不徳州

氏不敵もることを

得んや終不悪計露

見あかひ一味の人々捕

もきとありて重き



○藤浪由縁之助

由縁之助ハ美少年にして

胡蝶の術を得たり一者あり

されど心性善からぬものあれば

計りごとを廻らし或時女の

装ひぬ出立ちて湯浅家へ

入り込こ大

守の懸想

せられそ寐

所の伽をあし大

寵を受けたりし

同役の少年尾上之助を

逐ひ出し白から其目を

奪えんとせりしも

奈何んぞ天

此の悪人を助く

べき忠臣のたる

障

へら

れき

身を

思ふを

天下

のあ

りた



○曉星五郎
 星五郎天下
 小名を得て賊
 の魁首あり
 其身蝙蝠の術
 を妖広道人よ
 り授かりて
 飛行自在を
 あたり
 常小手下の小賊数
 百人を持てり毎々非道
 本番の聞へちる豪家へ
 入りて大金を奪ひ窮
 民を施したり依て
 曉星五郎の名ゆりといふ



○石川五右衛門
 五右衛門天下
 名高き大
 賊あり

△大岡秀吉の寢
 所へ忍び入り
 香の壺を
 奪と

○せし折千石権兵衛とありぬ

○天狗小僧霧太郎

霧太郎ハ幼
年の頃

より鞍馬山へ登り増上坊より天狗の術を飛行の術を授かり一ハ生得之賊心づるものゆゑ遂ニ大賊の首領とあり手下の小賊數百人を有る

ひたり常ニ山中ニ住家をもとめ所々小岩窟をかまへ諸國の豪家へ押入りてハ金銀米錢を奪ひ取り
榮華を盡しける然レども此の賊ハ義氣あるもの
曾て盜得たる金銀ハ貧民ニ施すたれば其の報ひ小や天網を逃さず折々其姿をかき依て人呼んで霧太郎と云ふ



○清水冠

者義高

義高

木曾義

仲の子

みして

最も猛氣人あり

父義仲亡び後

頼豪阿沙利の弟子

とあり鼠の術を

得て頼朝の娘大

姫の婿とあり謀

事をもつ

頼朝を刺さんと或

夜深更におよび



高かみ寢所へ去のひ入りて西行法師が獻せし銀猫のたぬきを破らば頼朝を刺す能はたり



○此の如く
門の奥あり
正徳元年
起るが
善勝なる勇
あり又將門
旅島の古神
將門の業を
りて蝦夷の
味方を集め
大宅の太郎
これとて遊
とありて味



○此の如く
大宅あり
衆士勝たり
たはみ大宅
心をも合
へて戦
つんと
へとも味

△勢ハ鳥合の集り
あれバ争で官軍
不敵まへきや
忽ち

散乱す良
門もま
終に討死を
とがたり



○蒙雲の術
其音球の太祖の遺
球の精
大玉
球國
乱しける
子孫のの
亡くさる
蒙雲の行法の威
徳を
りて
妖術をつかふ法師あり

△又災ひと
以て獣も
蒙雲の術
より現を
せしもの
あり斯く
自在を
得たる
ものあれ
ども邪は
正敵せ
立ひし
た



○妙術尼
昔も老僧の化せしもの
衆人を驚かしあり又其身
術を得たり奇怪あるも
人たる大江親兵衛仁の
ゆらぎされれば今ハ
かをかり
高欄の辺り
ふき
折り終本親兵
衛
取
押へられ
鉄扇をく再三
打ましゆるうごくこと

△能
た
りたし滅



○仁本正政剛
 彈正八伊達家の長男あり自ら鼠の
 術を得て兵部少輔と心を合せ王家を
 押領せんとせしかども忠臣
 政國の局松前鏡の助等の
 ためお障へらそ謀計を
 影をこそ能を依て
 或る深更お
 を幸ひふ
 御殿間近
 く忍び寄り鼠
 の術をつかふ
 て以て鶴
 千代君の

有所權版

明治廿三年十一月廿三日印刷
 全 年全月廿四日出版
 東京市浅草區南元町十五番地
 編輯印刷兼發行 者

牧金之助

寝所へ
 入り害せん
 としたり
 折り
 松前鏡
 のため
 見あらん
 され妖術
 敗れて
 入るこそ
 能も遠
 小陰を消
 て逃げ
 失せ
 ける

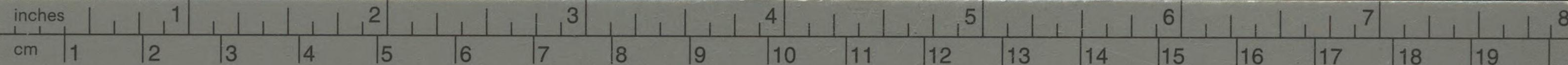


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



KODAK Color Control Patches

© 2021 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. KP127082B

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

